



高P連だより

〒060-0005 札幌市中央区北5条西6丁目1番 第二北海道通信ビル8F
TEL (011) 232-0007 FAX (011) 232-0006
URL : <http://www.hokkaido-kouren.com/>

今月の内容

- ▶シリーズ「北の志」
 - ・三笠高等学校
 - ・十勝野球連合チーム
- ▶第62回全道大会報告
- ▶新会長あいさつ
- ▶支部だより (名寄・十勝)



実習に励む生徒たち —三笠高校—

Heart to Heart 北の志

—ひたむきに頑張る君たちを応援したい—



初の4校連合チーム —足立新幕連合—

夢の実現を目指して

～食のスペシャリストを育てる～

北海道三笠高等学校長

高瀬雅朗



本年4月に開校した「北海道三笠高等学校」。道立から市立への転換は前例がない中、道立時代の歴史と

伝統を継承しつつ新たな歴史の構築へと一步を踏み出しました。「家庭」の学科に属する「食物調理科」の学校であり、「調理師コース」「製菓コース」の2コースで教育を実践しています。第1期生は、男子十二名女子二十八名の計四十名、空知の生徒十三名をはじめとして、全道から生徒が来てくれました。授業が始まつて四ヶ月、四十名の生徒が主体的に爽やかに教育活動に取り組んでいます。

は、高校を失うことはまちの活力を失うことと考えました。普通科での存続は難しいと判断した三笠市は、「食」に特化した学校ができないかと考え、高校生レストランの取組がクローズアップされていた三重県多気町にある相可高校を数回にわたり訪れ、「食物調理科」での高校存続を決断しました。学科変更したうえで道立での存続を道に要請していましたがかなわず、市立での高校存続を決断し、平成二十二年九月の市議会議決を経て開校準備に入り、平成二十四年四月に開校するに至りました。

現状にあります。部活動については、「調理同好会」「バスケットボール同好会」「バスケットボール同好会」「地域連携同好会」「地域連携同好会」「バスケットボール同好会」

確立されており、あいさつができる生徒です。さまざまな取組にも積極的に参加し、さらには自分たちで企画、運営のできるリーダーシップを持つた生徒が多い現状にあります。

好会」ができました。それには、各学年とも約四〇%になるようにします。特に「調理同好会」においては、夏休み明けの学校設定科目として「地域開発と食」を配置し、地域とは、食を媒介としていかに地域と連携していくかを学ぶこととした。

特色ある教育課程

高校を新規に卒業する生徒の中約七割以上が進学

教育活動だけにとどまらず積極的に地域と連携し、三笠の方々に市立高校教育を知つていただく、高校生を知つていただくことを心掛けています。これまで、三笠小学校の「地域学習」のサポート、寄宿舎のある幾春別地域の祭典のお手伝い、三笠市内で行われる行事でのボランティア活動など、さまざまな活動に第一期生は主体的に取り組んでいます。

地域との連携

教育活動だけにとどまらず積極的に地域と連携し、三笠の方々に市立高校教育を知つていただく、高校生を知つていただくことを心

掛け

ています。

地域

との連携

は

あります。



野球連合チームでの大会出場に感謝

足寄高等学校野球部顧問

第94回全国高等学校野球選手権大会北海道大会を勝ち抜いた足寄高校・士幌高校・新得高校・幕別高校の4校連合チーム「足寄・士幌・新得・幕別連合」として出場させていただきました。この場をいただきありがとうございました。この場をおかりしましてあらためて選手・顧問一同大きな幸せを感じております。

目を潤ませながらこの主将の言葉に聞き入る中、いつも側で片桐君を見つめてきた新得高校野球部部長の村田祐亮教諭ははばからず涙を流す。そのときの心境を村田教諭は後日こう述べています。「片桐君が入部したとき、新得高校野球部の選手は12人。人数は少なくとも勝利を目指すチームでした。3年生が引退すると、選手は4人。それでも練習を重ね、片桐君が2年生の春・夏の大会はなんとか新

で勝つという目標を与えてあげられない中での練習の日々です。最後の夏もどうなるかわからない。それでも自分自身の野球力向上のためと毎日を過ごしました。日々の練習の成果を発表する場はなく、自分との戦いが続きました。そうして3年生となりました。が、春の大会は部員数不足のため出場がかなわず、最後の夏を迎えることになりました。最後の大会への出場が危ぶまれる中、連合チーム

とつて高校野球がどのよう
なものであつたかの深層の
ところはまだ伺い知ること
のできない面があります
が、最後に「幸せ」という
言葉を聞いたとき、2年半
の彼の苦労と頑張りが私の
脳裏に一気に蘇り、涙を止
められなくなりました。」
片桐君は後日次のように述べ
ています。「僕は足立新
幕連合チームとして試合に
出場できて本当によかつた
と思う。なぜなら、最高な

夏の一瞬の出来事は忘ることはありませ
た。なぜなら、僕にどうな時間だったからで
球をやっていて本
かったと思います。」
この連合チームは
数不足により大会へ
が危ぶまれた足寄高
校、新得高校、
校の4校が一つのチ
ークを結成したもの
です。もここ数年は部員数

携ブレーの練習や実戦的な練習ができるに大きな喜びを感じておりました。そして何より、同じような状況下にあつた仲間とともに力を合わせ、また切磋琢磨しながら、勝利をつかむという目標に向かうことができたことに大きな幸福感を感じずにはいられません。連合チームでの活動への理解とたくさんのご協力をいただきました。心より感謝申し上げます。

たが、連合チー
ムを組み、目標
ができました。
このチームで最
後の大会に出場
することができ
て、本当に幸せ
でした。一同



危ぶまれる中、連合チームでの大会参加が認められました。このとき彼には二つの感情があつたように思います。チームとして野球ができる喜びと、新しいチームでの戸惑いです。表に出さずとも、新得高校のチームとしてグラウンドに立ちたい、そんな思いも持つていたのではないかと思います。それでも彼は主将といふ立場を与えてもらいました。そしてチームは少しずつ成長していきました。最後の試合、彼は一つの安打

春・夏の大会はなんとか新得高校として出場を果たすことができました。しかし、2年生の夏休み、野球部に残ったのは片桐君1人。それでも彼は野球がしたいと話しました。大会出場を彼に約束できない中で、試合

危ぶまれる中、連合チームでの大会参加が認められました。このとき彼には二つの感情があつたように思います。チームとして野球ができる喜びと、新しいチームでの戸惑いです。表に出さずとも、新得高校のチー

A wide-angle photograph of a stadium filled with spectators. The stands are packed with people, mostly young adults, wearing white shirts and red sashes. Many are holding small flags or banners. The stadium has green railings and a large white roof. The atmosphere appears to be a major event or competition.

部活動から選手をお
借りして大会出場を
することもありまし
た。そのような中、
この夏季大会より部
員数不足による連合
チームでの大会参加
が認可され、4校が
一つのチームを結成
し大会への参加を果
たすことになりました。
た。連合チームが結
成されてからの活動
は、苦労よりは多く
の幸せを感じるもの

謝申し上げま
連合チームの
を果たし、子
回り成長する
のではないか
困難な状況を
と、力を合わ
切さ、そして
えられ応援を
ら野球ができる
それを知ること
合チームでの
からの子ども
な成長に大き
ものであつた
ます。

二での大会出場などもたちは一
ことができました。
がと思います。
乗り越えることの大き
せることの方に支
多くの方に支
せることのこと
としていること
とができた津
活動は、これ
な意味を持つ
たちの人間的
と感じており
す。

も出ませんでした。それで
も彼は幸せだったと言葉に

仲間達や監督、コーチの人たちと出会えたこと、そし

でありました。各校間の距離が遠距離であるため、4

多くの方には
お世話にな
らせて頂いて
おります。お忙
な中、お時間
を割いて、お
話をうかが
うるうる、心
から感謝で
きりません。
また、お忙
な中、お時間
を割いて、お
話をうかが
うるうる、心
から感謝で
きりません。

北海道高等学校PTA連合会 第62回大会(旭川・留萌大会)

道高P連の第62回大会が、6月15日（金）16日（土）の両日、旭川市で開催された。旭川市は、北海道のほ

高校を主管とする旭川・留萌支部28単Pが一体となつた運営により盛会へと導いた。

開会式

日本で最北の旭山動物園が「行動展示」と呼ばれる展示方法が特徴として観光スポットとなっている。大会には、全道各地から1162名もの会員の参加を得て開催された。旭川南の河川が流れる四季の変化に恵まれた都市。また、

「雄大な大雪山 夕日に輝く黄金岬 この豊かな大地に集い 自然の恩恵に感謝し 未来への架け橋となる子供たちが 風雪に耐え逞しく 健やかに成長することを願い エールを送りましよう」の大会メツセージのもと、2日間にわ

は、子供たちをはじめとして、家庭や地域、教育現場、或いは社会全体に大きな変化を与えてきている中で

しているからこそ、P.T.A.としての意識を高め、正しい情報を共有し、子供たちを守っていくという視点で

出身で講談師の神田山陽
が「明日への講談入門」、

主なテーマを拾つてみると、「進路支援」とPTA活動との連携、「地域コミュニティ」とPTA、「親の思いと子の

めまぐるしい変化を変動の時代が続いている」と指摘

校（旭川東高校・旭川商業高校）に25～30名で41の分科会を設定し、地域・学校

P T Aとして何をなすべきかと共に考え、学び、交流しましよう」と呼びかけた。この後、単P役員、道高P、連役員等を退任した410名の方々への功績者表彰並びに感謝状の贈呈が行われた。その中で長年にわたり道高P連でご尽力された榎原綾子前会長に特別感謝状が贈呈された。

地域が一体となつた取組が必要」との認識を示し、「土来への架け橋となる子供たちが、逞しく、健やかに成長することができるようエールを送り続けていたがきたい」と述べた。このほか、西川将人旭川市長、道高校長協会の山本伸弘会長が祝辞を述べた。

タさん」との出会い、落
ブームの中、師匠二代目田
山陽氏との出会いいか
今の自分が見い出された
となどを時折、講談の一
をちりばめながらの語り
なった。会場を埋め尽く
た参加者全員が1時間30分
という時間が本当に短い、
感じさせるほどおもしろ
かしく、聴取を引きつけ

講演

講演であつた

ためにという強い思いを、これからもP.T.A活動の糧としていきたい」と期待を込めた。また、「昨今の価値観の多様化

ご来賓からのご挨拶の中で、全国高P連の相川順子会長は、「高校生をめぐる環境は、かつてないほどの

【講演】
講演では、圧倒的なフ
ピード感とその語り口で、
格古典講談に挑む、網走毛

講演であつた。
【分科会】
大会2日目は、市内の

A man in a suit and tie is sitting at a desk in a classroom, looking at papers. He is surrounded by desks and chairs, and there are papers on the desks.

平成24年度
北海道高等学校PTA連合
連合会総会報告

業第1号監査案 一平成23年度事
宮川事務局長より、事業報
告（会務報告・事業概要）に
ついて資料を基に説明。質問
等はなく、承認される。
第2号監査案 「平成23年度收
支決算報告」
一般会計決算報告、各特別
会計決算報告（退職金積立金、
災害補償制度、高校生給合保
障制度、障害児舞金等事業、
団体助成事業費、高校生健全
育事業、賠償責任補償制度）
について、小野次長より説明。
を基に説明。特に質問はなく
原案通り承認される。
第3号監査案 「平成23年度会
計監査報告」
佐藤真弓美監事より、会
則第10条第1項第4号の規定
に基づき監査したが、適正に

(8)	(7)
第8号議案	第7号議案
支予算(案)	「平成24年度事業計画(案)」
一般会計予算案、各特別会計予算案(退職金積立金・災害補償制度・高校生総合保障	(石狩・新・札幌月寒高校監事・長谷部直樹 (石狩・再・札幌篠路高校大貫司 (石狩・新・恵庭南高校)池本章 (石狩・新・札幌東陵高校)

出席者	場所	日時
中島圭・村上義人・ 山本伸弘・長谷部直樹	全日空ホテル3階 祥雲の間	平成24年7月29日(日) 12：40(14：40)
大貫司・白鳥孝夫・ 田原佳子・中島茂則	中島圭・村上義人・ 山本伸弘・長谷部直樹	
小室一征・蜂谷規彦・ 橋本るみ子・国沢悟	中島圭・村上義人・ 山本伸弘・長谷部直樹	
金澤達也・小林孝幸・ 大村学・佐々木敏則	中島圭・村上義人・ 山本伸弘・長谷部直樹	
武田修一・片岡辰巳・ 中村至・渡邊政美・ 高井雅一・滝田進・ 富田敏明・丸木克朗	中島圭・村上義人・ 山本伸弘・長谷部直樹	
青陽哲也・阿部公明・ 小野修志(事務局)・ 恒美	中島圭・村上義人・ 山本伸弘・長谷部直樹	
白鳥孝夫	中島圭・村上義人・ 山本伸弘・長谷部直樹	

(7) (6) (5) (4) (3)

則は道選挙を経る。
平成24年度道高P連支部事務局校一覧について
資料一覧の通り
平成24年度道高P連総会へ
道大会(旭川・留萌大会)終了報告について
資料に基づき説明のとおり。
「高校生と語るつどい」(留萌
支部・十勝支部)について
資料に基づき説明のとおり
出席者・・留萌・・中島会長
十勝・・宮川会長
平成24年度全国高P連第1回
総会・各種常設委員会・日本大震災義援金取支・等
全国高P連について
資料に基づき説明のとおり
第62回全国高P連大会「和歌
山大会」について
広報誌の全国展示について
（広尾高校・北見緑陵高校）

平成21年度
第1回理事会報告

<p>9 8</p> <p>(2) (1) (11) (10)</p> <p>議長退任 旧役員挨拶・新役員紹介・挨拶 榎原会長・松本副会长・辻会長 会長・佐藤監事より退任挨拶 新役員を代表して中島圭会長 より挨拶。統いて各自が役 名・名前等の自己紹介。</p>	<p>9 8</p> <p>(9)</p> <p>制度・障害見舞金等事業・ 体助成事業費・高校生健全 事業・賠償責任補償制度 について、小野次長より説 があり、特に質問はなく原 通り承認される。</p>
	<p>第9号議案 〔平成25年度会・第63回全道大会（案）〕</p> <p>開催支部 釧路・根室支庁 主管校 北海道釧路商科高等学校</p> <p>会 日 時 平成25年6月 日（金）～15日（土）</p> <p>宮川事務局長より説明 了承される。</p> <p>第10号議案 〔平成26年度会・第64回全道大会（案）〕</p> <p>宮川事務局長より説明 了承される。</p> <p>第11号議案 「その他」</p> <p>特になし</p>

会長挨拶	中島 圭 会長
理事会成立宣言	宮川 恒美 事務局長
自己紹介	役員、監事、理事、委員会
議長選任	北見支部 金澤 達 （事務局が理事に依頼）
記録者選任	札幌支部 白鳥 喜 夫（常任理事、監事等の候補者） （事務局が監事として選任）
議事録署名人	北見支部 金澤 達 （事務局が監事として選任）
(1) 報告事項	札幌支部 白鳥 喜 夫（常任理事、監事等の候補者） （事務局が監事として選任）
(2) 報告事項	札幌支部 白鳥 喜 夫（常任理事、監事等の候補者） （事務局が監事として選任）
平成24年度北海道高等学校T A連合会加入状況について	札幌支部 白鳥 喜 夫（常任理事、監事等の候補者） （事務局が監事として選任）
資料に基づき説明のとおり資料に基づき説明のとおり	札幌支部 白鳥 喜 夫（常任理事、監事等の候補者） （事務局が監事として選任）
道南1校・後志2校が閉校、	札幌支部 白鳥 喜 夫（常任理事、監事等の候補者） （事務局が監事として選任）
組織改革等検討特別委員会について	札幌支部 白鳥 喜 夫（常任理事、監事等の候補者） （事務局が監事として選任）
村上委員長より資料に基き目的・事業・構成メンバー等を説明	札幌支部 白鳥 喜 夫（常任理事、監事等の候補者） （事務局が監事として選任）
事業の例として、会則は事業所の所在地を「札幌市に置く」と改めれば、事務局の移転に変更の必要がなくなる。	札幌支部 白鳥 喜 夫（常任理事、監事等の候補者） （事務局が監事として選任）

(8) 工業表彰について		ウイイダチ	
(ア) 参加者	297名(役員含む)	(ア) 参加者	月29日現在
受賞者・事務局等7名を含む)		北海道からの参加状況(7)	全国大会参加報告(高P連だより)について(担当
出席者 161名		空知支部 芦別高校	北海道からの参加状況(7)
北海道懇親会への出席者	183名(役員等を含め)	第1分科会(札幌あすかぜ高校の発表分科会)出席者	北海道からの参加状況(7)
数	183名(役員等を含め)	第1分科会(札幌あすかぜ高校の発表分科会)出席者	北海道からの参加状況(7)
(イ) 役員等表彰について	(イ) 役員等表彰について	(イ) 役員等表彰について	(イ) 役員等表彰について
個人・松本衆司(全国専理事(道高P連副会長))	個人・榎原綾子(全国理事(道高P連会長))	個人・榎原綾子(全国理事(道高P連会長))	個人・榎原綾子(全国理事(道高P連会長))
事(道高P連会長)	事(道高P連会長)	事(道高P連会長)	事(道高P連会長)
特別感謝状受賞団体	北海道高等学校PTA連合会	特別感謝状受賞団体	北海道高等学校PTA連合会
会(代表・中島会長)	会(代表・中島会長)	会(代表・中島会長)	会(代表・中島会長)
特別感謝状受賞者	榎原綾子(北海道大会実行委員長)	特別感謝状受賞者	榎原綾子(北海道大会実行委員長)
高P連及び各単Pにおける国	道教委との連携について	高P連及び各単Pにおける国	道教委との連携について
道を望書を提出。これは、道	7月25日道教育長宛、会長名	道を望書を提出。これは、道	7月25日道教育長宛、会長名
高P連及び各単Pにおける国	道教委との連携について	道を望書を提出。これは、道	道教委との連携について

と保護者が連携を密にし、会計の内容がわかるよう互牽制・内部牽制を取り組み透明性を高めて欲しく、また、保護者負担の軽減を計りながら有効に支援を受けて欲しいと、出席者にねてお願いした。

北海道P.T.A連合会、札幌T.A協議会との連携について、中島会長から、資料に基づきこの協議会の必要性と、道P連が幹事となり第1回に行われた事を説明。

教育関係団体との連携について(就職支援・薬物・ネット(トラブル等)、資料に基づき説明のとおりその他、特になし。

会計の使い方についてであります。他県では不適切な支出があつて、文科から都道府県教委に問い合わせがあつたが、北海道はこれらに該当せず適正に執行されている。北海道はこれまで、公的に賄わないのではあれば支援を続けるとの趣旨をえてきた事を中島会長が説いた。内容の概略は次の通りです。
「...と題し3点を示す。
一部活動の参加に係る教員の引率旅費の確保
生徒の教育水準を高める
教員研修会旅費の確保
本道の高校教育の向上を図る校長会等の研修
旅費の充実
これについては、各単P

質問
顧問の役員埠員によつて経費増加となるのは好ましくない。あるくまでも会長の相談相手という事なのか、理事会・総会等に出席するのか?

回答者 中島会長

基本的に必要に応じてと考へてゐるので、現時点では理事会等の出席は考へてない。よつて経費はほとんど発生しない。

「高P連だよりの編集発行」と「HPの更新管理等の適切な対応方法の検討」を目的とした特別委員会(仮称:広報委員会)の設置について、会長から、今まで高P連だよりの編集のみ行つてきた編集委員会に、①広報紙の内容の

(3) 精査②H Pによるリアルタイムの情報提供の2点にも検討してもらいう説明があり、承認された。
 平成24年度道高P連役員・理事・委員会委員長等について資料に基づき説明の通り承認された。
 組織改革等検討特別委員会からの提案について

(4) 報告事項
 村上委員長より資料に基づき説明。(①経費の削減、②PDFデータ等により容量の大きなデータ容易に送れるようになった。以上のこどから、道高P連からの文書・情報の通信にEメールを使用したい。単Pにアンケートを実施したい。

質問者 大村理事
 質問 Eメールは各単Pすべてを把握したいのか?
 回答者 全單P・全支部長に調査したい。

質問者 大村理事
 質問 その調査は支部で取りまとめるのか?
 回答者 村上委員長
 質問 ある事を支部長から支部の単Pへ伝えて欲しい。

審議事項
 ①道高P連施行細則第16条の変更について
 村上委員長より資料に基づき説明され、承認される。
 ②道高P連施行細則第36条の変更について
 村上委員長より資料に基づき説明。
 提案者 長谷部監事
 提案 本会はPTA会長連合会ではなく、北海道校長・単P会長だけでもなく、単P保護者にも適用すべきでないか?

皆さんの意見もお聞きしたい。
 (5) 意見者 村上委員長
 意見 意見としてわかるが、道高P連は単位PTAが会員である。規約では北海道高P連会員は各支部を組織している者があるので、単位PTAということがある。
 回答者 中島会長
 意見 なつてゐるのは残念で「行わない」とあるのを行つてゐるのは好ましくないので、長谷部範囲が違う。高間顧問、松本前全国事務理事、他県連等にも聞いてみたが、この種の議論では単位PTA会員と、この組織の会員とは異なることを理解しなければ話は進まない。
 意見者 長谷部監事
 意見 条文上の解釈はわかるが、弔意を示すのは誰かと考えると、ここに居るメンバーではなく、各単位PTAの保護者から集めた200円で他校のPTA会長に香典等を贈ると、ここに示すことが弔意を示すことになるのか疑問である。ここで敢えて規約を改正してまで承認された。健全育成委員会に今後の方針について検討を依頼し、認された。

(6) 意見者 白鳥理事
 意見 私も気持ちちは長谷部監事の言う様にしたいが、経費面でもまた、全道272校からの情報収集するという実務面から見ても難しいので提案通りでいいです。には目途がつきそう。参加料等は変更なし。8月末(土)

意見者 佐々木理事
 意見 道高P連は単位PTA会員である。規約では北海道高P連会員は各支部を組織している者があるので、単位PTAということがある。

意見者 大村理事
 意見 現規程は「特別の場合を除き」と玉虫色でなつてゐるのは残念で「行わない」とあるのを行つてゐるのは好ましくないので、長谷部範囲が違う。高間顧問、松本前全国事務理事、他県連等にも聞いてみたが、この種の議論では単位PTA会員と、この組織の会員とは異なることを理解しなければ話は進まない。
 意見者 長谷部監事
 意見 条文上の解釈はわかるが、弔意を示すのは誰かと考えると、ここに居るメンバーではなく、各単位PTAの保護者から集めた200円で他校のPTA会長に香典等を贈ると、ここに示すことが弔意を示すことになるのか疑問である。ここで敢えて規約を改正してまで承認された。健全育成委員会に今後の方針について検討を依頼し、認された。

(7) 意見者 大村理事
 意見 なつてゐるのは残念で「行わない」とあるのを行つてゐるのは好ましくないので、長谷部範囲が違う。高間顧問、松本前全国事務理事、他県連等にも聞いてみたが、この種の議論では単位PTA会員と、この組織の会員とは異なることを理解しなければ話は進まない。
 意見者 長谷部監事
 意見 条文上の解釈はわかるが、弔意を示すのは誰かと考えると、ここに

意見者 白鳥理事
 意見 私も気持ちちは長谷部監事の言う様にしたいが、経費面でもまた、全道272校からの情報収集するという実務面から見ても難しいので提案通りでいいです。には目途がつきそう。参加料等は変更なし。8月末(土)

(8) 意見者 大村理事
 意見 現規程は「特別の場合を除き」と玉虫色でなつてゐるのは残念で「行わない」とあるのを行つてゐるのは好ましくないので、長谷部範囲が違う。高間顧問、松本前全国事務理事、他県連等にも聞いてみたが、この種の議論では単位PTA会員と、この組織の会員とは異なることを理解しなければ話は進まない。
 意見者 長谷部監事
 意見 条文上の解釈はわかるが、弔意を示すのは誰かと考えると、ここに

(9) 意見者 大村理事
 意見 現規程は「特別の場合を除き」と玉虫色でなつてゐるのは残念で「行わない」とあるのを行つてゐるのは好ましくないので、長谷部範囲が違う。高間顧問、松本前全国事務理事、他県連等にも聞いてみたが、この種の議論では単位PTA会員と、この組織の会員とは異なることを理解しなければ話は進まない。

北海道高等学校PTA連合会は、高校生のための「災害補償制度」を主催しています。

**参加校 146校
生徒数 57,155人**

多くの学校の参加を期待しております。

私にジャストフィットする保険を選ぶならいろいろなかたちの「安心」があるエース保険。

いつでも、どこでも、今日も、未来も。どんなにもびったりな「安心」と「満足」を、エース保険が提供いたします。



エース保険
ace Insurance

新会長ごあいさつ



就任のご挨拶

北海道高等学校PTA連合会
会長 中島 圭

道高P連だより125号の発行にあたり皆様にご挨拶申し上げます。

本年6月に開催されました平成24年度北海道高等学校PTA連合会総会におきまして、皆様のご承認を賜り会長を拝命致しました、中島でございます。不慣れな点が多くあります。

どうかと思いますが、1年間宜しくお願ひ致します。また昨年開催を致しました、全国高等学校PTA連合会大会北海道大会に際ましては、全道各地の皆様にご協力を戴き、大成功のうちに終了することができました。これも単に皆様のご支援のお陰と考えております。重ねて御礼申し上げます。

さて、今年度北海道高等学校PTA連合会は、榎原前会長よりバトンを受けて、新体制でのスタートを切りました。子供たちを取り巻く教育環境は依然として厳しく、時には難しい選択をしなくてはならない場面もあるかも知れません。昨今の急速な少子化傾向は、学校数の減少や、PTA会員の減少といった組織運営にも影響を及ぼしかねない問題となつております。私は、北海道のPTA組織が今日まで抱つてきた役割は、対象こそ違いますが、子供たちの成長や学校の運営に直接影響を与えるほど非常に重要なものであり、継続性の高い社会的責務であると考えております。

そのためにも保護者と先生が、今後とも互いに手を取り理解を深めて、次代を担う子供達へ安定した支援を行う必要が広く御意見を拝聴しながら、子供達の応援団として、また会員の皆様の応援団として活力ある組織の運営を進める所の連携を保ちながら、会員である各支部所属の単位PTA連合会へのご理解とご協力をお願い申し上げてご挨拶と致します。

平成24年度
北海道高等学校PTA連合会事業日程

平成24年7月29日現在

月	日	曜	氏名(校名)
4	初		道高P連理事の依頼
	ク		支部役員報告期日通知(道高P連→支部長校)
	ク		表彰者報告期日通知(道高P連→全単P、道高P連→支部長校)
	ク		第62回道高P連大会(旭川・留萌大会)案内(旭川支部から)
	11	水	第1回会長・副会長・事務局会議
	23	月	平成23年度道高P連決算監査
	24	火	第1回支部事務局長会議
5	27	金	第62回道高P連大会(旭川・留萌大会)参加申込締切
	7	月	第62回全国高P連和歌山大会・各単P案内
	11	金	功績者表彰申請締切(単P→支部長校→道高P連)
	16	水	第2回会長・副会長・事務局会議
	17	木	平成23年度道高P連第3回常任理事会
	ク		・第3回理事会・役員選考委員会・表彰選考委員会・各委員会等
	23	水	支部役員・代議員報告締切(支部長校→道高P連)
6	6	水	第62回全国高P連和歌山大会参加申込締切
	14	木	道高P連第4回常任理事会
	15	金	道高P連「総会」・第62回道高P連大会(旭川・留萌大会)第1日目
	16	土	第62回道高P連大会(旭川・留萌大会)第2日目
	23	土	全国高P連・第1回総会・理事会・総務委員会
	24	日	全国高P連・第1回各種常置委員会
	7	29	平成24年度道高P連第1回常任理事会・理事会・各委員会等
7	4	土	高校生と語るつどい第1日目(留萌支部)
	5	日	・第2日目(・)
	6	月	高校生と語るつどい第1日目(十勝支部)
	7	火	・第2日目(・)
	22	水	第62回全国高P連大会和歌山大会運営会議・事務局長会議他
	23	木	第62回全国高P連大会・和歌山大会第1日目
	24	金	・第2日目
8	10	月	災害補償制度運営委員会(土日で検討)
	22	土	道高P連だより125号発行
	23	日	全国高P連第2回各種常置委員会・第2回総務委員会
	ク		・第3回理事会
	23	日	・第1回全国会長・事務局長研修会
	12	金	北海道シンボシウム(十勝支部)
	10	中	災害補償制度運営委員会(土日で検討)
9	ク		道高P連災害補償制度説明会(災害補償制度運営委員会で検討)
	中		臨時理事会(特別委員会からの議題がある場合・4/11/18日)
	下		第2回支部事務局長会議(土日で検討)
	ク		道高P連災害補償制度説明会(災害補償制度運営委員会で検討)
	12	中	道高P連だより126号発行
	1		
	9	土	全国高P連第2回全国会長・事務局長研修会
2	10	日	・第3回各種常置委員会・第3回総務委員会・第4回理事会
	16	土	平成24年度道高P連第2回常任理事会・理事会・各委員会等
	3	中	高P連だより127号発行
	備	考	・各支部総会(5/7~6/8)

平成24年度
北海道高等学校PTA連合会役員・理事・委員等名簿

平成24年7月29日現在

No	役職	所属等	氏名	学校名	所属委員会	備考
1	会長	石狩	中島 圭	石狩翔陽	—	全国:理事・研修委員 ★
2	副会長	石狩	山本 富造	札幌新川	健全育成	全国:進路対策委員長 ★
3	ク	胆振	村上 義人	苦小牧西	総務	全国:監事 ★
4	ク	石狩	野村 光孝	札幌南	研修	全国:健全育成委員 ★
5	ク	校長協会	山本 伸弘	札幌月寒	総務	北海道高等学校校長協会会長 ★
6	監事	石狩	長谷部直樹	札幌篠路	研修	全国:調査広報委員
7	ク	石狩	大貫 司	恵庭南	総務	
8	ク	石狩	池本 章	札幌東陵	健全育成	
9	理事	石狩	原 貴彦	札幌東中	健全育成	
10	ク	石狩	白鳥 孝夫	札幌東商	研修	
11	ク	道南	田原智佳子	函館水産	総務	総務委員長 ★
12	ク	後志	中島 茂則	小樽工業	研修	
13	ク	空知	小室 一征	芦別	研修	
14	ク	旭川	蜂谷 規彦	旭川南	研修	研修委員長 ★
15	ク	留萌	橋本るみ子	留萌	研修	
16	ク	名寄	国沢 悟	名寄	総務	
17	ク	北見	金澤 達也	北見柏陽	健全育成	
18	ク	十勝	小林 孝幸	帯広工業	健全育成	
19	ク	釧路	鈴木 敏夫	釧路商業	総務	
20	ク	根室	大村 学	中標津	健全育成	健全育成委員長 ★
21	ク	胆振	佐々木敏則	室蘭東翔	研修	
22	ク	日高	武田 修一	静内	研修	
23	ク	校長協会	片岡 長三	札幌西	総務	校長協会指名理事(校長協会筆頭副会長)
24	ク	ク	中村 至	文教大明清	健全育成	・(校長協会・私学・理事)
25	ク	ク	馬場 保孝	石狩翔陽	研修	・(道高P連会長)
26	ク	ク	渡邊 政美	岩見沢東	健全育成	・(校長協会空知支部長)
27	ク	ク	高井 雅一	札幌あすかぜ	研修	・(道高P連石狩支部長校)
28	ク	ク	滝田 進	札幌東商	健全育成	・(道高P連次期石狩支部長校)
29	ク	ク	富田 敏明	恵庭北	総務	・(校長協会事務局長)
30	ク	教頭会	丸木 克朗	札幌北	健全育成	教頭・副校長会会長 ★
31	ク	事務長会	青陽 哲也	札幌東商	総務	公立学校事務長会会長 ★
32	ク	養教研会	大村 道子	札幌東	総務	養護教諭研究会副会長
オブザーバー 次期開催事務局長 阿部 公明 釧路商業 研修 釧路商業教頭(釧路支部事務局長)						
顧問		高間 専逸	前全国高P連会長・元北海道高等学校PTA連合会会長			
		榎原 綾子	前全国高P連理事・前北海道高等学校PTA連合会会長			

★ …… 常任理事

組織改革等検討特別委員会

委員長	村上 義人(副会長)
副委員長	原 貴彦(石狩支部長)
委員	松本 衆司(前全国高P連専務理事)
委員	田北百樹子(社会保険労務士)
委員	宮川 恒美(事務局長)
委員	小野 修志(事務局次長)

広報特別委員会

委員長	山本 富造(副会長)	※事務局
副委員長	管野 友香(札幌情P会長)	宮川 恒美(事務局長)
委員	大沼美枝子(札幌北P副会長)	小野 修志(次長)
委員	前村 啓子(札琴工P会長)	廣瀬 善脩(局員)
委員	西村 真理(札幌南P副会長)	松山 淳子(局員)
委員		小田島美香(局員)

支部だより

寄部
名支

自然と星と子どもたちと

北海道高等学校PTA連合会

名寄支部長 国沢悟
(北海道名寄高等学校PTA会長)

名寄支部は、現在17校、生徒数3,129名を有し、南北は剣淵町から北は稚内市まで、南北に伸びる広大な支部です。平成22、23年度は稚内大谷高校が事務局をつとめ、平成23年度に稚内市において開催した「高校生と語るつどい」は、稚内市が推進する持続可能な自然エネルギー（太陽光、風力、バイオマスなど）の施設見学やソーラーカーブルの実習見学、高校生と保護者、教員、併せて70名による「明日のエネルギー」についての大変有意義な研修となりました。現代の高校生の柔軟な発想に基づく数々のアイデアに、参加者からは大きな賛賛の声が上がっていました。保護者の一人として、次代を担う若者たちの勇ましさやたくましさが垣間見られたのが何よりも嬉しかったです。そして、こ

のつどいに参加した道北の高校生の中から、エネルギー開発の研究者やエネルギーを取り巻く経済問題に果敢に立ち向かう青年がきっと現れるものと信じます。本事業の企画・運営に携わってこられた稚内大谷高校の保護者の皆さん、先生方、そして、近隣地区の皆様に心からお礼を申し上げます。

さて、本年度 事務局校の任を受け継ぎましたのが私ども名寄高校PTAです。PTA名寄支部総会は、本年6月8日、道高P連の頭、榎原会長から、前年度に開催した全国高等学校PTA連合会（札幌大会）総会のお礼や前述の「高校生と語るつどい」のお礼、道高P連の活動状況と今後の動きなどを含め、大変丁寧なご挨拶を頂戴しました。

総会に続く研修会では、なよる市立天文台「きたすばる」の佐野康男氏にご講演をいただき、佐野氏が自ら発見された複数の超新星やひとつの極超新星（大発見なのだそうです！）の画像紹介とともに、かつて名寄高校で教鞭を執られた故木原先生（きたすばるの前身「木原天文台」の創設者）

のつどいに参加した道北の高校生の中から、エネルギー開発の研究者やエネルギーを取り巻く経済問題に果敢に立ち向かう青年がきっと現れるものと信じます。本事業の企画・運営に携わってこられた稚内大谷高校の保護者の皆さん、先生方、そして、近隣地区の皆様に心からお礼を申し上げます。

さて、本年度 事務局校の任を受け継ぎましたのが私ども名寄高校PTAです。PTA名寄支部総会は、本年6月8日、道高P連の頭、榎原会長から、前年度に開催した全国高等学校PTA連合会（札幌大会）総会のお礼や前述の「高校生と語るつどい」のお礼、道高P連の活動状況と今後の動きなどを含め、大変丁寧なご挨拶を頂戴しました。

勝部
十支

地域に根ざした活動を目指して

北海道高等学校PTA連合会 十勝支部長 小林孝幸
(北海道帯広工業高等学校PTA会長)

当支部は現在、二十四校、二十七単Pが加盟しております。五月十九日（日）の十勝支部総会には、道高P連から榎原会長、宮川事務局長のご臨席をいただき、総勢六十三名で盛会に開催されました。その他、支部の事業としては、支部役員会（年三回）、支部交通安全街頭指導、管内高等学校PTA会長・校長合同研修会などを実施しています。

昨年度開催された、第六十一回全国高等学校PTA連合大会（北海道大会）、地域物産展では、訪れた多くの大地から子どもたちを見ていると、彼らはなんともかわいい」など、すっかり会場の人気者となっていました。このような機会を設けていただきまして、

お運びください。心から歓迎いたします。豊かな自然に囲まれた北の大地から子どもたちを見ていると、彼らはなんともかわいい」など、すっかり会場の人気者となっていました。このような機会を設けていただきまして、

た道高P連、ご支援ご協力していただいた皆様方に感謝申し上げます。



さるに今年度特別事業をいたしまして、道高P連の主催事業「高校生と語るつどい」（八月六日（月）～七月（火）「北海道シンポジウム」（十

月十二日（金））



くの方々と連携、協力しながら活動を行っていきたいと思いますので、どうぞ宜しくお願いします。